

科研費基盤研究B(21H00650)

「仮想空間における宗教的遠隔治療に関する情動・感覚の文化人類学的研究」

(共催：京都人類学研究会・イタリア東方学研究所 (ISEAS))

「情動と仮想空間

—感覚を通じた距離と共在の再考—

2024年1月27日 (土)

@京都大学吉田南1号館1共01

(対面開催・ブックローンチのみハイブリッド開催)

参加費：無料



参加登録はこちら

本シンポジウムでは、仮想空間を通じたやりとりにおける情動について考える。媒体を通じた遠隔での相互作用に焦点を当てることは、仮想領域が情動や知覚によって形成し形成される過程を浮き彫りにするだけでなく、従来の距離と共在の概念の再考を促すものである。そのためシンポジウムでは仮想空間をめぐる様々な文化人類学的事例だけではなく、対面空間における身ぶりや認知、環境との呼応といった問題も射程に入れ、情動、感覚、知覚によって「他者と共にいる」という経験が距離との関連の中でいかに生まれるかを検討する。それにより、仮想空間における情動、経験、および知覚のダイナミクスを探究すると同時に、これまで文化人類学で余り論じられてこなかった「距離」の理論化について考える。

シンポジウムは「論じる」と「経験する」という2つの部分に分けられている。前者「論じる」部分では従来のシンポジウム形式で研究者がテーマについて学問的に論じ、後者の「経験する」部分は参加者がシンポジウムの中核テーマを感覚を通じて探求する。前半と後半を通じて、テーマについてのより包括的な理解を目指す。

【論じる】

12:30-12:40 挨拶・趣旨説明

デ・アントーニ アンドレア（京都大学大学院人間・環境学研究科）

12:40-13:25 津村文彦（名城大学外国語学部）

「5Gで呪術はすぐに効くようになったータイの呪師のオンライン実践と感覚経験」

13:25-14:10 井本由紀（慶應義塾大学理工学部）

「つながりの場、あるいは<生>としての“4th Place”ー仮想空間における情動の学び」

14:30-15:30 ブック・ローンチ『聖なる自己ーカリスマ派の癒しの文化現象学』（水声社）の紹介と著者へのインタビュー

翻訳監修者（対面）：飯田淳子（川崎医療福祉大学医療福祉学部）、川田牧人（成城大学文芸学部）、島藺洋介（大阪大学グローバル・イニシアティブ・センター）・著者（オンライン）：トーマス・J・チョルダッシュ（カリフォルニア大学サンディエゴ校）

15:35-16:20 高田明（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科）

「社会的距離と感情ーグイ／ガナの場所をめぐる物語りの分析から」

16:20-17:05 高梨克也（滋賀県立大学人間文化学部）

「相互行為と他者の情動ープラグマティズムの系譜から」

17:20-17:45 コメント 西井涼子（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）

17:45-18:05 コメント 伊藤守（早稲田大学教育・総合科学学術院）

18:05-18:50 総合討論

【経験する】

19:00-20:15 交流会@西部講堂

20:15-21:00 ライブ（松田美緒）

京 人 研 会
都 類 学 究 会

京都人類学研究会は京都を中心とする関西の人類学および関連分野に関心をもつ研究者・大学院生が研究成果を報告する場です。どなたでも自由に参加いただけます。

京都人類学研究会事務局 (kyojinken.official@gmail.com)

代表：デ・アントーニ アンドレア

学生幹事代表：森口武・続木梨愛



Italian School of East
Asian Studies (イタリア
東方学研究所)
<https://iseas-kyoto.org/>



Religious Healing
Anthropology Network
宗教的治療の文化人類学ネットワーク

科研費基盤研究B(21H00650)

「仮想空間における宗教的遠隔治療に関する情動・感覚の文化人類学的研究」

<https://religioushealing-anthropology.org/>